



条幅規定

成家 江川 悦子

墨量豊かに厚みのある線で元気が湧いてくる温かな作である。木簡の特徴の一つである横画の広がりも遠勢がきいて、筆の開閉も無理なく、文字の大小も自然で快作である。

条幅随意

準六段 毛利奈津子

柔らかなタッチで気負い無く、爽やかな筆遣いで纏め、気品のある上品な作となりました。や、後半の気脈が薄れ、文字が大きい感がある。手本に捕われず、自己の世界を展開しよう。

条幅随意(臨書)

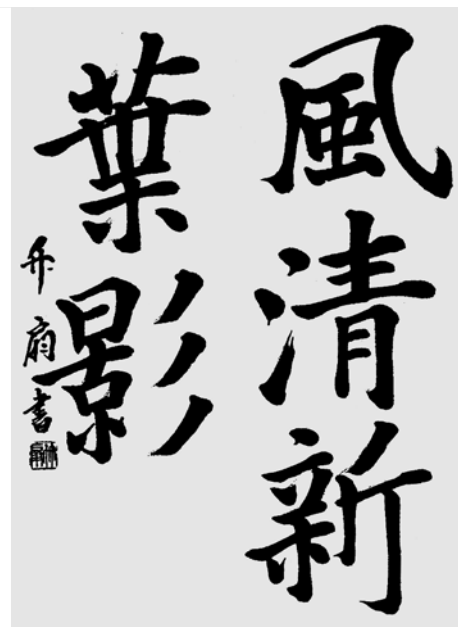
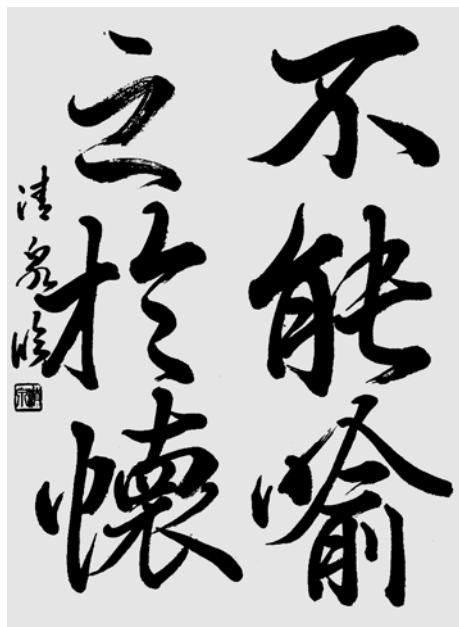
成家 松原 華月

どっしりとした風致のある作。張り詰めた線の中に何か余裕のある書。や、義之の幽雅さは欠けるも意先筆後のことばどおり、作品の中に引き込まれる様な変化に富んだ快作だ。

半折 1/2 横

師 範 龍 由香里

俳句の一部だけを大きく書くことには賛否両論あるであろうが、自分のなりのイメージをつかんで制作することは大事です。細字部の本文から名前・雅印までの処理は見事。



半紙規定

師 範 江崎 竹扇

無理のない柔らかな無欲な線に白と黒の調和もよく、透明感のある上品な佇まいが見る者の心を和ませます。みなの方針となるう。

半紙随意

成家 秋永 春霞

羊毛の長鋒筆を駆使され、線の変化と見せ場を心得、風雅な趣を感じる達者な作である。実力に文句無し。新しい春霞ワールドに期待。

半紙随意(臨書)

師範正 中野 清泉

運腕大きく、堂々と書かれた用筆には躍動感があり、日々の鍛錬と心の充実が完成度の高い作を生んだ。真摯な臨書態度に更に期待。



学生部条幅 (1/4)

中一 準4級 藤本しほり

お手本をしっかりと観察しながら丁寧な筆づかいで明るく書けています。今後は行書のリズムを意識して書いてみて下さい。

植 涼羽
小一 8級

うでを大きくうごかして、のびやかにそして力よくかけています。なまえもしっかりと書いていてりっぱです。

山崎ここみ
小二 7級

しっかりとしたふでづかいで、形もよくととのった明るい作品です。ふでをかくとさらによくなりますよ。

田中瑛一朗
小三 準1級

お手本をよく見て、名前まで気をぬかずに、形よく書けています。今後は、左ハライやハネをていねいに書きましょう。

山口 茉優
小四 準1級

全体のバランスがよく、あたたか味のある線です。しっかりと書けています。名前を少し大きく書くことさらに良くなると思います。

松本さらら
小四 準3級

すこしにじみすぎたところはおかしいのですが、形良く、どっしりと書けています。今後は楽しんでみです。がんばって下さい。

中村 実聖
小五 五段

明るくすっきりとまとまりのある作品です。左ハライやハネの筆づかいに気をつけることさらに良くなります。期待しています。

松井 美月
小五 準五段

名前まで気をぬかず、力強くどうどうと書けています。今後は、筆を軽くにぎって伸びやかに、体全体で書きましょう。

武田 千洸
小六 準四段

気のこもった力強い線が魅力的な作品です。名前もていねいに書けています。今後はさらに期待しています。

首藤 龍馬
中一 準六段

行書に入ったばかりですが、行書のリズムと流れが自然に出ています。本文と名前のバランスも良く明るい作品です。

薬師寺佳歩
中二・三 特待生

線にのびやかさがあり、さすが「特待生」の作品です。今後は一般部へも挑戦して、更に「上」を目指して頑張ってください。

(坂元紫香先生評)

25